

# 東京農業大学稲花小学校

学校だより【2023年1月10日】第150号



## 新学期 始まる

1月10日(火)、3学期の始業式と定期健康診断が行われました。12月23日(金)の終業式以来18日ぶりに登校してきた子どもたちは、友だちに会えてうれしそうです。家庭で家族とともに穏やかに過ごしてきた心の落ち着きに加えて、新しい年、新しい学期に向けた意欲が感じられました。始業式の校長講話では、年の初めをよい機会として、「なりたい自分」を意識して過ごすことの大切さを伝えました。自分を律することができずに良い振る舞いが難しくなった時、あるいは、学習に前向きな姿勢が保てなくなった時、始業式の決意を思い出してほしいものです。

## 一足早く アフタースクールも始動

アフタースクールは農大稲花小より一足早く、1月5日(木)から開室しました。1月6日(金)には、毎年、誰もが楽しみにしている「アフタースクール紅白歌合戦」が行われ、子どもたちは思い思いに歌、ダンス、楽器の演奏などを披露してくれました。お笑いが好きな子どもたちも多く、「N1グランプリ」優勝を知らせに来てくれた子どもたちもいました。いつもの教室とは違う表情を見せる子どもたちに、それぞれの成長を感じます。

## 1月の昆虫標本は

毎月、新しい昆虫標本を2箱、一般財団法人進化生物学研究所よりご提供いただき展示をしています。1月の昆虫標本のテーマは、ヨーロッパの昆虫です。羽子板や獅子頭などお正月のしつらえと並んで、1月10日(火)から展示が始まりました。

ヨーロッパからヒマラヤの高山に生息するというアポロ蝶(アポロウスバシロチョウ)は、アポロ(太陽神)の名の通り、白い翅の中にある合計4つの赤く丸い斑紋が目を惹きつけます。ヨーロッパ各地の山々でこの蝶を採集し、美しい標本として残してくれた研究者の思いも、標本箱から伝わってくるようでした。



なお、同研究所の研究者山口就平先生にはすでに3年生の稲花タイムで授業をしていただきました。また、理科をご指導いただく蝦名元先生は、同研究所の研究者でもあります。研究所のホームページもご覧ください。

◇一般財団法人進化生物学研究所 <https://www.nodai.ac.jp/rieb/>

## 活躍する中等部生

農大稲花小に隣接する東京農業大学第一高等学校・中等部。12月24日(金)に第66回日本学生科学賞(読売新聞社主催、旭化成協賛)で、中等部生物部が「モウソウチクの成長のしくみ」が、入選1等に輝いたといううれしいニュースが届きました。この研究は、都大会ですでに最優秀賞を受賞しているものです。生物部は、中高合わせて100名を超える部員を擁しています。生き物が好きな農大稲花小の子どもたちも、進学したら好きな研究に思い切り取り組みそうです。第一高等学校・中等部には生物部以外にも、運動部19部、文化部13部の各クラブと、5つの同好会があるとのこと、子どもたちそれぞれの興味・関心が満足できそうですね。



◇東京農業大学第一高等学校・中等部 クラブ活動

[https://www.nodai-1-h.ed.jp/?page\\_id=737](https://www.nodai-1-h.ed.jp/?page_id=737)

## 寄付者の皆様へ感謝

1月28日(土) 13時00分より世田谷キャンパスにおいて、東京農業大学稲花小学校寄付者へ感謝する会を開催するため、準備とご案内を進めています。これまでに「東京農業大学稲花小学校教育振興資金」に、ご寄付をいただきました皆様に、感謝の意を表すために行うものです。まだ4年生までしかない新しい学校ですが、農大稲花小が保護者の皆様、学校法人のご関係者、さらには本校の教育理念にご賛同くださる多様な方々の応援をいただいていることに感謝しています。

## 学びを深める

農大稲花小では、夏休みと同様に、いわゆる冬休みの宿題は課していません。しかし、冬休みの間も、毎日の学習習慣や読書習慣を維持することは当然であると考え、2学期の学習で理解が十分でなかったことや、もっと学習を深めたいことについて家庭学習で取り組むことを推奨しています。また、3年生と4年生については、2学期末に実施した学力テストの結果などを考慮して、担任から個別に課題を提示した場合もあります。学力テストの結果の考え方については、保護者様向け動画を作成しご理解をいただくようにしましたが、その点数や偏差値に一喜一憂するのではなく、できなかった分野を把握したり、間違いの原因を理解したりすることがまず大切だと考えています。また、先取り学習や詰め込み学習ではなく、既習事項をしっかりと身に付けることの大切さは常々、子どもたちにも伝えているところです。基礎を理解し、自ら学びを深める努力や体験学習によってそれらを習熟・定着させることは、進級を前に学年のまとめともなる3学期にはとくに意識して指導していきたいと考えています。

東京農業大学稲花小学校

校長 夏秋 啓子